

2019年～2020年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは
世界をつなぐ

2019～20年度 国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー 氏



自動車にまつわる絵はがき

(文：廣瀬 太／企画・製作：ノスタルチ屋)

イズス ベレット1600GT (1964年～1971年)

現在では国内では乗用車を生産していないイズスの、日本ではじめて「GT」を名乗ったクルマ。1979年にGT-Rが追加されました。

2月は平和構築と紛争予防月間です。

2019～2020年度(第62期 竹内年度)

2月第4例会プログラム

2月27日(第3017回)

VOL. **30**

- 点 鐘
- ロータリーソング
- ビジター紹介
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- 職場訪問&秘湯の会報告
- にこにこBOX報告
- 出席報告
- 点 鐘
- ロータリーソング

会 長
四つのテスト
親睦活動委員会

鈴木 敏之 職業奉仕委員長

SAA

出席委員会

会 長

それこそロータリー

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー)承認 日本国内247番

創 立 1958年2月14日(昭和33年)

承 認 1958年3月 7日(昭和33年)

事務局：土浦市中央2-16-9(常陽銀行4F) TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830

URL <http://www.tsuchiura-rc.org> E-mail office@tsuchiura-rc.org

例会場：L'AUBE Kasumigaura 毎週木曜日 12:30～13:30

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社

会長 竹内 崇 幹事 高橋 宏成

新会員卓話「印刷業界のデジタル化について」

菊池 泰正 会員

皆さん、こんにちは。

本日は、新会員卓話ということで、印刷業界のデジタル化についてお話させていただきます。

業務用の出版物において、かつては熟練の職工が活字を組む作業が出版業界では一般でしたが、コンピュータの出現、普及と共にその作業を電子化する試みが模索されるようになりました。



活版時代の活字

活版印刷から、タイプや写植印刷などを経て、1970年代には業務用の電算写植システムが開発

され、1978年にはレイアウトに関する命令を記述したタグを用いる組版ソフトで、編集作業を行う環境が実現され、アメリカの新聞社や大手出版社などに採用されてきました。

一方民生の出版物においては、1984年1月、パソコンのMacintosh（初代Mac）とワープロソフトのMicrosoft Wordが発売されると、従来のタイプライターによる原稿の制作環境をMacとWordで代替し、「Macをタイプライターとして使う」ことが一般的に行われるようになっていきました。

その後、1985年アメリカで、オフセット印刷の世界を大きく変える技術が登場します。

コンピュータ上でWYSIWYG（ウィジウィグ）要するに仕上がりイメージをリアルタイムで表示しながら、文字や写真を一括処理して作業できるDTP（Desk Top Publishing）です。以降印刷データのデジタル化が加速していきます。

日本では日本語環境という独自性から普及が遅れていましたが、ソフトウェアや書体の充実に伴い1990年代半ばくらいからは本格的な普及期に移っていきました。

DTP以前の印刷までの作業工程は、デザイン、版下作成、製版がそれぞれの専門家に分業化されていました。DTPではこれらの作業をすべて1で行うことが可能となります。

出版印刷の世界ではページ物の制作に画期的な効率化をもたらし、商業印刷の世界でも仕上がりイメージがダイレクトにわかるメリットは大きかったといえるでしょう。現在では、デザイナーさんがDTPで仕上がりイメージを確認しながら作業をするのは当たり前となっています。

その後、デジタルデータをダイレクトにオフセット印刷用の版に出力するCTPシステムが実用化されます。印刷ポジを介さないため、理論的には精度もコストもメリットがあるものですが、当初はスピードも精度も耐久性も通常刷版に劣っていました。

しかし技術的な改良が進み、2000年くらいからはカラー印刷分野にも本格的に導入が進み、今やオフセット印刷刷版といえばCTP出力が普通となっています。また同時に1990年代後半から、本格的にインターネットの普及が進み、回線やサーバーも高速化・大容量化していきます。

デジタルカメラの高性能化も進み、当初は印刷品質には達しないといわれていたものが、現在ではデジカメでの撮影が当たり前となっています。データのデジタル化と回線の高速化はネットを介しての印刷データのやり取りを可能としました。

入稿や校正の面でも、メールやサーバー等を利用し、校正をPDFで確認していただき、それをまたメール等で送っていただくということで、効率化が図られております。

一方、デジタル化・ネット普及により紙媒体メディアの需要縮小も懸念されておりますが、専門スキルが問われる部分が完全になることは当分ないと思います。アナログとデジタル・ITが融合してより良いものをつくり出す業界と言えます。

ご静聴ありがとうございました。



R I 2820地区より 次年度の委嘱状が届きました



平島 隆之 会員	奉仕プロジェクト国際奉仕委員会 国際交流共同委員 タイ担当 ロータリー財団委員会 地区補助金担当
沼尻 大 会員	奉仕プロジェクト青少年奉仕委員会 ローターアクト委員長
金澤 幸江 会員	米山奨学会 米山寄付増進委員

第2回 事前理事会報告

關本 淳一 副幹事

2020年(令和2年)2月13日(木) 例会終了後 於：ローブ

審議事項

1. 第63期 各委員会 委員長 選任の件
原案どおり、可決承認された。
2. 第63期 副幹事 選任の件
副幹事として中島賢一会員が選任された。

報告・確認事項

1. 2020年度 2820地区研修・協議会開催の件
開催日時：令和2年5月10日(日)
時 間：未定
(9:30登録~16:00くらいと思われます)
場 所：つくば国際会議場
(つくば市竹園二丁目20番地3)
※詳細な案内はまだですが、参加対象者は
会長、幹事、会員組織委員長、クラブ管理運営委員
長、奉仕4委員会各委員長、財団・米山各委員長
と思われます。スケジュール調整をお願いします。
2. 第1回事前クラブ協議会開催日について
日 時：令和2年4月23日(木) 11:30開会
場 所：ローブ
3. 家庭集会の開催日程について
5月中旬の開催を予定する。日程は会長一任。

第63期 土浦ロータリークラブ 委員会構成

会 長	飯山 孝之
副 会 長	鶴田 一郎
直前会長	竹内 崇
幹 事	關本 淳一
副 幹 事	中島 賢一
S A A	沼田 真一
会 計	鬼澤 俊久
会員組織委員長	鶴田 一郎
会員増強委員長	安藤真理子
会員選考委員長	円城寺紘征
ロータリー情報委員長	沼田 義雄
クラブ管理運営委員長	佐藤ぱうろ
出席委員長	上村 毅
親睦活動委員長	白田 恭士
プログラム委員長	三輪谷博史
クラブ会報委員長	菊池 泰正
公共イメージ委員長	藤田 雪絵
奉仕プロジェクト委員長	竹内 崇
職業奉仕委員長	高田 知己
社会奉仕委員長	小倉 史義
青少年奉仕委員長	金澤 幸江
国際奉仕委員長	藤澤 昭彦
ロータリー財団委員長	河合 隆
米山記念奨学委員長	大場 傳美

かすみがうらウォーキングへの寄付金贈呈

2月20日、竹内会長をはじめ3名で安藤土浦市長を訪問し、かすみがうらウォーキングへの寄付金を贈呈してきました。

今回は30回記念大会のかすみがうらマラソンです。

コース住民の家族総出でのおもてなしもあって、参加者満足度の極めて高い大会として定着しているようです。当クラブはウォーキングでのお手伝いですが、皆様、春の湖畔を20キロ、歩いてみましょう！

写真左から、河合社会奉仕委員長・安藤土浦市長・竹内会長・飯山副会長



ここにBOX

2/20 計17,000円 累計1,628,000円

出席報告

会員	欠席	出席	免除・欠席	出席率
60名	23名	37名	2名	63.79%



例会予告

- 3月 5日 理事会(9)、会長挨拶、誕生祝、結婚記念日祝、入会記念祝、「ロータリーの友」紹介
- 12日 卓話「自転車を活用したまちづくりについて」土浦市市長公室政策企画課 主任 東郷裕人 様